



# ことば便り



墨田区立押上小学校  
 校長 島田 和久  
 ことばの教室 NO.2  
 TEL 03-3617-6925  
 令和5年5月1日(月)



新緑の季節。若々しい緑の木々を見ると、自然のエネルギーを感じます。  
 新学期がスタートして1か月が経ちました。環境の変化から疲れが出てくる頃でしょうか。お休みの日は、ゆっくり過ごしてエネルギーを蓄え、若葉のように元気に毎日を過ごせるようにしたいものです。

## 5・6月の行事予定

### 5月

- 9日(火) 都難言協江東ブロック研究会(午後)
- 10日(水) グループ活動①(吃音) 15:30~
- 16日(火) 都難言協専門研究会(午後)
- 20日(土) 押上小体育発表会
- 22日(月) 押上小体育発表会 振替休業日
- 30日(火) 区難言教室担当者会(午後)

### 6月

- 1日(木) 在籍学級訪問開始
- 2日(金) 専門家診断 **※午後の指導はお休みです**
- 6日(火) 都難言協専門研究会(午後)
- 13日(火) 都難言協江東ブロック研究会(午後)
- 24日(土) 押上小土曜授業「ことばの相談日」
- 27日(火) 通級指導学級研究会(午後)

## 🌸 主な年間行事予定

- <前期> 在籍学級訪問 6月1日(木)~  
 お楽しみ会 7月12日(水)  
 個別指導終了 7月14日(金)  
 (夏季休業 7/21~8/31)  
 個別指導開始 9月4日(月)  
 個別指導終了 9月29日(金)

- <後期> 後期通級開始 10月11日(水)  
 お楽しみ会&発表会 12月13日(水)  
 個別指導終了 12月15日(金)  
 (冬季休業 12/26~1/5)  
 個別指導開始 1月10日(水)  
 個別指導終了 3月8日(金)  
 おわりの会 3月13日(水)

保護者面談 10月2日~6日(この期間以外にも随時実施いたします)

<グループ活動(吃音)> 以下、通年、水曜15:30~16:30に実施する予定です。

5/10、6/7、7/5、9/13、10/18、11/15、12/6、1/17、2/28

## 🌸 新年度保護者会にご出席いただき、ありがとうございました。

先日はご多用の中、保護者会にご出席いただきまして誠にありがとうございました。「ことばの教室」は、一人一人の苦手さに寄り添い、「できること」や「楽しめること」を一緒に考えていくことができる場所です。今年度も、保護者の皆様や在籍学級担任の先生方と連携し指導・支援を進めていきたいと考えていますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

## 🌸 在籍学級訪問のお願い



6月1日(木)から、在籍学級訪問を開始します。授業時の通級児童の様子を参観し、その後、在籍学級担任の先生方との情報交換を行います。日程につきましては、各担当者から電話等でご都合を伺いし調整いたします。ご配慮いただきますようよろしくお願いいたします。

## 🌸 学級担任の先生方へことばの教室に通う児童への配慮（合理的配慮）

ことばの教室には、吃音や発音の誤り、言語発達の遅れ、読み書きの不得手さなどの課題のある児童が通っています。それぞれに苦手さや困り感をもって生活をしているので、今後、在籍学級の先生方にはご配慮などお願いすることもあるかと思いますが、以下に簡単に配慮事項をまとめましたので、参考にいただければと思います。

### 吃音があります

「ぼ、ぼ、ぼく」（くり返し）、「ぼ——くね」（引き伸ばし）、「……つぼく、」（ことばがつかまる）など、言葉をスムーズに話せない。



- 吃音には、様々な要因が影響しています。ことばの教室では言葉が出やすい練習もしますが、吃音があってもおしゃべりを回避せず、会話を楽しめることを大事にしています。その子の良さを認め、自信を育てることが大切です。
- 授業では、どもっていても最後まで聞き、「落ち着いて」「ゆっくり」とは言わず、周囲が「どもっていいんだよ」と思うこと、また、先生が普段からゆったりと関わり、ゆっくりと話すことも大切です。からかいなどは吃音の悪化にもつながります。放置せず、ご指導を。
- かけ算九九の学習で吃音が悪化することがあります。スピードを競わせず、確実に言えることを大切に学習を進めてください。
- 音読は一斉、または二人読みなどをすると吃音が出にくいです。失敗体験を減らす工夫を。

### 文字の読み書きが困難です

練習しても文字の獲得が遅い、音声から文字に変換できにくい、文字を正確に写せない



- 要因は様々で、繰り返すだけの練習はかえって弊害となります。
- **読み**教科書はトラックやルーペの活用、指で追う、拡大コピーなど読みやすくする工夫、テストはルビ付きにする又は担任が問題を読む、などご配慮ください。
- 書く**（読み困難も考慮）板書内容を手元に置く、量を減らす、タブレットを活用する、ワーキングメモリーが弱い場合は絵と文字をセットで覚える、漢字は分解して練習、視覚認知が弱い場合は語呂や意味で覚えるなどの学習が有効です。目と手の協応が課題の場合は、直線・曲線の練習から始めて文字練習へ、大きなマスのノートを使うなど工夫します。



### 発音の誤りがあります

「さ」かな→「たかな」「ちゃかな」「かかし」などはっきりしない、聞き取りにくい発音がある



- 発音の誤りは、発語器官の動きの鈍さや癖がついたことなどが要因です。言い直しさせても改善はせず、気にして話さなくなることもあります。発音の誤りは指摘せず、児童の話す内容に耳を傾けてください。誤った発音は「さかなを買ったのね」など正しい発音で返してあげてください。学級の他の児童へは言葉をまねするなどのからかいのないようご配慮ください。

### ことばの理解や表現が苦手です

指示や話が理解できにくい、会話がずれる、言いたいことを文で表せない、語彙が少ない



- ワーキングメモリーの弱さのある児童が多いです。指示は短く一つずつ、視覚的補助も有効です。頷いていても理解していないこともあります。学年が上がっても、作業手順など板書があると助かります。
- 不完全な表現は正しい表現でリピートすると、表現のモデルとなります。
- 作文はイメージできる視覚教材を補助にし、モデル文などの教示があると書きやすくなります。